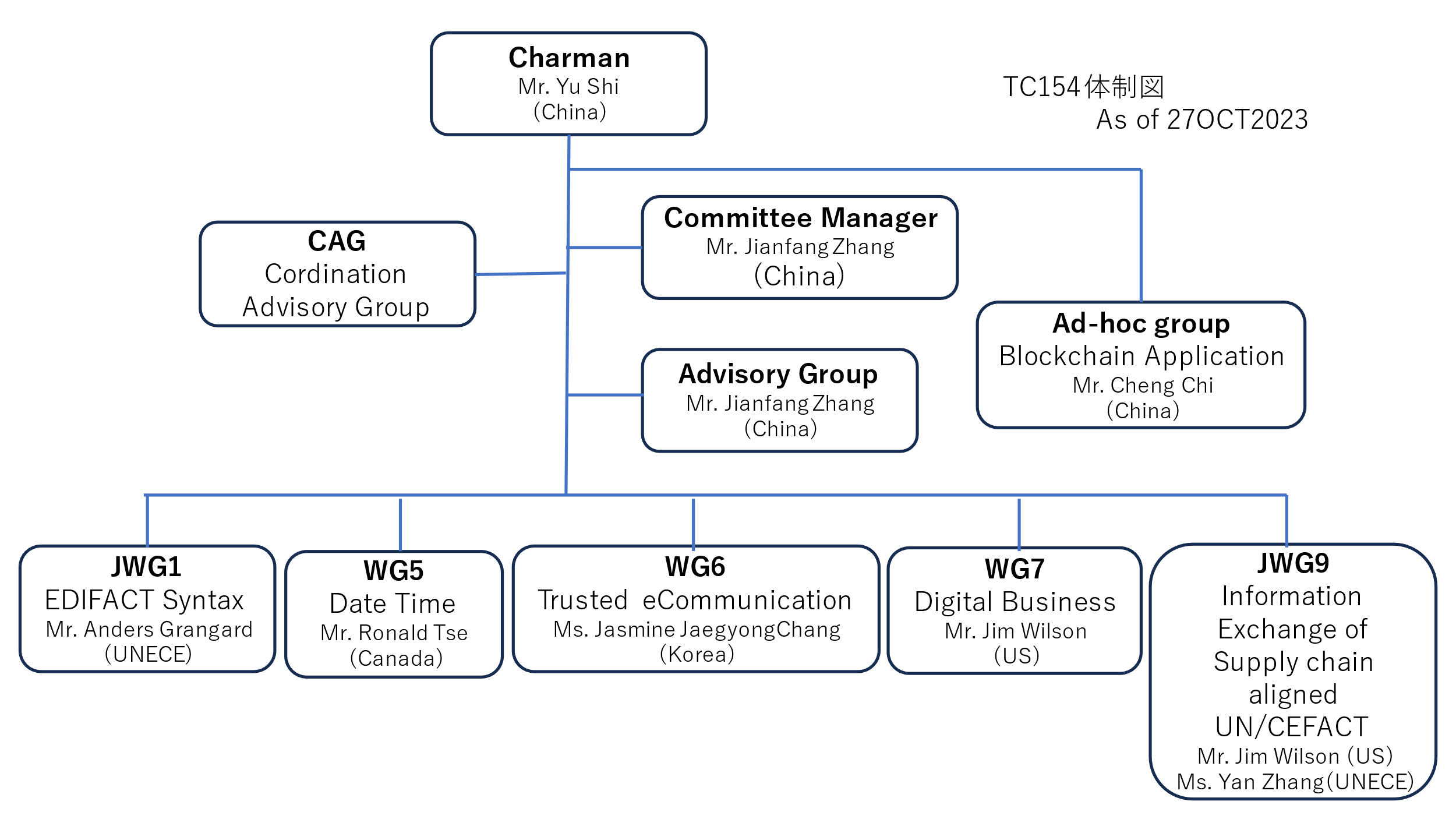
ISO TC154プロジェクト

TC154：Processes, data elements and documents in commerce, industry and administration）



1. JWG1

JWG1はEDIFACTシンタックスを対象としたUNECEとの合同WGである。

昨年度に完了したEDIFACTシンタックスのPart.11（Version 3 compatible profile for version 4 of ISO 9735）以降、新たなプロジェクトとしてEDIFACTメッセージの導入ガイド策定が検討されているが、さしたる進展はない。

また、TS20625（EDIFACT XML）の定期評価投票が始まっている（〆切3月3日）。

1. WG5

WG5は日時表記（Representation of dates and times）に関わる標準を担当しており、ConvenerはRonald Tse氏（カナダ）。

* + ISO 8601-2:2019/修正版（Date and time — Representations for information interchange — Part 2:Extensions）の投票が始まっている（〆切3月29日）。
  + ISO 34100, 34200, 34300 information models for reference time scales, timezones and calendarsの標準化。和暦等の西暦以外の暦表現の追加も検討されている。 (担当：CalConnect)

1. WG6

WG6は情報通信の信頼性（Trusted eCommunication）に関わる標準を担当しており、ConvenerはJasmine Jaegyong Chang氏（韓国）。

３．１　ISO/WD TR 19626-3

TR19626-3（Trusted communication platforms for electronic documents – Part 3 : Blockchain based Implementation Guideline）のWDへのコメントは全て解決し、DTR投票が始められる予定。

３．２　Revision of ISO 14533- 3:2017

日本の佐藤雅史氏が担当。

* ISO 14533- 3:2017（Long term signature profiles – Part 3 : Long term signature profiles for PDF Advanced Electronic Signatures (PAdES)）の改訂案につき2024年3月を目途にCD投票を行う予定。

1. WG7

WG7はビジネスのデジタル化（Digital Business）に関わる標準を担当しており、ConvenerのJim Wilson氏（米国）。

* ISO5054（Specification for an enterprise canonical model：エンタープライズ正規モデル）。
* Part-1（Architecture）はISO5054全体像と他のパートの概要を紹介するもので、今年IS（国際標準）として公開された。
* Part-2（Application of ISO 15000-5）：2024年早々にNWIとして申請される予定。
* ISO20191（Carbon data interoperability）のPart-1（Framework）のPWI（Preliminary Work Item）が中国のYu Shi氏により進められているが、進捗は滞ったまま。
* TR 20194（Digital trade - Basic concepts and key initiatives）のPWIが中国のXin Yao氏によって進められている。ICCやUN/CEFACTで使われている用語との整合性が問われることとなる。
* ISO20195（Technical requirements for blockchain implementation in industrial internet）のPWIが中国のCheng Chi氏によって進められている。Industrial internetは大量データ（設計情報）も扱い、交換頻度が高くないことからブロックチェーンで扱うのは適切ではないとの意見も出されている。
* ISO20180（Guidelines on risk-based product quality data interchange in ecommerce）のPWIが中国のYang Wu氏によって進められており、近々NP投票にかけられる予定。
* ISO16320（Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification）のPart-1（Reference Model）が韓国のYoungkon Lee氏によって進められている。本件は、2回目のNP投票が行われたが、参加国が規定の5か国に足らず不成立となった。日本は、ブロックチェーン担当のTC307における類似プロジェクトとの整合性が不明であることから棄権で投票し、TC307との合同ワークショップを提言。TC307のスマートコントラクト関連プロジェクトは次の通り。
* ISO/PWI 24875 Secure smart contracts;
* ISO/AWI PAS 24874 Guidebook on the Use of Smart Contracts in Contributing to the Sustainable Development Goals;
* ISO/AWI TS 18126 Smart contract taxonomy and classification

1. JWG9

昨年のTC154総会において、TC154とUNECEとの合同作業に関わる付帯条項（Terms Of Reference）の合意にもとづき、新たな合同作業グループ（JWG9）が設置され。JWG9の名称は「国連CEFACTセマンティクスに整合するサプライチェーン情報交換（ISO/UNECE joint working group for information exchange of supply chain aligned to UN/CEFACT semantics）」。

* JWG9の体制は次の通り。
* 共同Convenor（UNECE）：Ms. Yan Zhang
* 共同Convenor（TC154）； Mr. Jim Wilson
* 秘書：Mr. Kevin Bishop
* 当面、JWG9は以下のプロジェクトを担当する。
* ISO20197-1 BSP RDM BRS (Buy-Ship-Pay Reference Data Model Business Requirement Specification)：UNECEからのファーストトラック提案。
* プロジェクト共同リーダー（UNECE）：Mr. Zisis Palaskas
* プロジェクト共同リーダー（TC154）：Ms. Sue Probert
* ISO5909：ブロックチェーンで交換する電子BLプロジェクトで、現在、UNECEサイドの開発推進承認待ち。
* ISO7372/TDED（Trade Data Element Directory）：貿易手続きの基本となるデータ要素標準で、国連CEFACTの他、ICC、WCO、UPUなど貿易関係国際機関が採用している。しかし2005年版以来更新されておらず、そのメインテナンスを進めるプロジェクトが提案された。
* プロジェクト共同リーダー（UNECE）：Ms. Hanane Becha
* プロジェクト共同リーダー（TC154）：Mr. Xiang Wang

なお、TDED改訂プロジェクトはキックオフされたものの、まだ具体的な作

業に取り掛かっていない状況。